

Newsletter

JAPAN SOCIETY OF EDUCATIONAL INFORMATION

日本教育情報学会

NO. 143 2012. 10. 12

〒500-8813 岐阜県岐阜市明德町10番地 杉山ビル4F 岐阜女子大学 文化情報研究センター内
日本教育情報学会 運営本部事務局 Tel:058-267-5233 Fax:058-267-5238
E-mail:nkjg@gijodai.ac.jp http://jsei.jp/

日本教育情報学会第29回年会 開催【予定】

日時：2013年11月9日(土)～10日(日)【予定】

場所：沖縄女子短期大学（沖縄県那覇市国場405）

で開催を予定しています。〔詳細は次号掲載予定です。〕

***** 第28回定時総会報告 *****

8月25日(土)13:15から聖徳大学1号館香順メディアホールにおいて、日本教育情報学会第28回定時総会が開催されました。

正会員420名のうち113名の出席があり(委任状による出席者55名を含む)、定款27条により総会は成立。後藤忠彦会長を議長として総会を開会しました。

【提案された2議案】

第1号議案 2011年度事業報告及び収支決算の件

第2号議案 2012年度事業計画及び予算案の件

は、審議の結果、原案通り承認されました。(議案内容はNewsletter No.142をご参照ください。)

総会終了後、日本教育情報学会 学会賞の表彰式を行いました。

***** 2012年度日本教育情報学会 学会賞受賞者 *****

・奨励賞 (2件)

前年度の学会研究発表大会において発表された優れた研究および学会誌研究報告の中から選考する。

武田 正則 (山形県立寒河江工業高等学校)

【ファシリテーション能力育成のための校内研修モデルの開発】

(2011年 第27回年会発表)

須藤 崇夫 (埼玉県立浦和第一女子高等学校)

【コンピュータを用いた協調学習の取組—セマンティックコンピューティングの教育利用—】

(教育情報研究 第27巻3号発表)

・論文賞 (該当者なし)

・特別賞 (該当者なし)

***** 日本教育情報学会 第28回年会開催報告 *****

年會を盛り上げていただいた方々に御礼を申し上げます。

第28回 年会実行委員会委員長 木下 昭一

前回の十文字学園女子大学に引き続き首都圏での開催となりました。今回は常磐線の松戸駅の聖徳大学で8月25日、26日の暑い時期に行われ、延べ300名の参加者が集いました。

今回のテーマは東日本大震災で貴重な人材が失われ、生徒の指導要録など失われたこと、生徒の個人情報相変わらずUSBメモリーを通じて漏れている状況、教科書の電子化等を受けて「教育情報のデジタル化の課題と展望」ということにしました。

基調講演は赤堀侃司先生にお願いし、「デジタルデバイスは紙に勝てるか」という題目で主にタブレットメディアを教具として使うときの教育効果が語られました。

シンポジウムでは坂井岳志先生の司会で、パネラーに横井弘先生、堀田龍也先生、大久保昇先生に登壇いただき、教育現場でのデジタルメディアの導入について討論が行われました。着実に学校現場に電子黒板とタブレットPCなどのデジタルメディアが入っていて、活用されている状況がよく伝わってきました。詳細については論文誌に掲載される予定ですので楽しみにしていただきたいと存じます。

これらの講演と討論を通じて、身近な問題としては主に1.教育予算の裏付けと、2.教員のメディア習熟と3.教科書のデジタル対応ではないかということが浮かび上がってきました。

教育予算は対GDP比では極端に低い水準にまで落ちています。大切な次の世代を育てることの重要性を広く訴える必要があると参加者は思ったのではないのでしょうか。

教員のメディア対応については、何よりも基本的な教育技術を磨き、児童生徒の学力を向上する授業力を身に付け、そ



分科会の様子

の延長上にさまざまな教育メディアが当然のように置かれていて各先生の個性が発揮される教室こそが未来の学校だということも感じたのではないのでしょうか。

教科書も新聞も雑誌も単行本も電子化されつつありますが、紙媒体の強さは、何よりも電気がなくともすぐに立ち上がり、その場の筆記が記録に残り、修正も削除も簡単である。ということで、デジタル情報と比較して紙媒体の優れた面が浮かび上がったということも言えるのではないのでしょうか。

しかし、情報の量の増大、省エネルギーの問題、森林伐採の問題もあり、紙パルプ資源のことも考えると、紙はその優れた用途が発揮される面にこそ使って、それ以外は電子的な記録に移行するのが良いのではないかと思った人が多いのではないのでしょうか。

各会場での熱心な討論によって、参会者の皆さんは次の研究課題を見つけたのではないのでしょうか。最終日の最後に研究会のミーティングを行い、今後の研究の道筋を議論した研究会の今後の活躍を期待いたしますと共に、今回の年会において扱われたいくつかの課題についてさまざまな実践・研究が広がり、この分野での研究が深まることを期待しております。



交流会の様子

******* 運営本部事務局よりお願い *******

◆年会費のお支払いについて

【2012 年度】年会費および【過年度年会費】について、まだ納入がお済みでない方は、至急お手続きをお願いいたします。（お支払いいただいた後、振込金受領書は大切に保管してください。）

会費お支払い等についてご不明な点のある方は、事務局までお問い合わせください。

なお、「払込取扱票」を紛失された方は下記にお振込みをお願いします。

会費振込先

郵便振替口座：00840-5-133924

加入者名：日本教育情報学会

会員氏名・会員種別・会員番号は必ずご記入ください。

◆学会誌「教育情報研究」の投稿について

「教育情報研究」または「ホームページ」に掲載の『投稿要領』をご確認のうえ、『投稿手続』および『執筆の手順』に従い、『投稿票』を添えて運営事務局へご投稿下さい。

なお、投稿票はホームページ <http://jsei.jp/> からダウンロードできます。

***** お知らせ *****

1. 講演「デジタルアーカイブの新しい展開」～人々にメディア利用の開放を～

共 催：日本教育情報学会、日本デジタル・アーキビスト資格認定機構

講 演 者：後藤忠彦(日本教育情報学会会長)

開催日時：平成 24 年 11 月 3 日（土・祝） 14：30～16：00

会 場：岐阜女子大学文化情報研究センター（岐阜市明徳町 10 杉山ビル 6 階）

申込締切：申込不要

2. 日本教育情報学会「デジタルアーカイブ研究部門」第 1 回研究報告会

主 催：デジタルアーカイブ研究部門

開催日時：平成 24 年 11 月 3 日（土・祝）10：00～14：00

会 場：＜主会場＞ 岐阜女子大学文化情報研究センター

（岐阜県岐阜市明徳町 10 番地 杉山ビル）

＜遠隔会場＞岐阜女子大学沖縄サテライト校

（沖縄県那覇市国場 405 沖縄女子短期大学記念館内）

※テレビ会議システムを利用して実施予定。

発表内容：1. デジタルアーカイブの資料収集（撮影・記録）について

2. デジタルアーカイブの管理保存について

3. デジタルアーカイブの利用方法について

4. 各分野での利用方法について

申込締切：平成 24 年 10 月 26 日(金)

申 込 先：岐阜女子大学文化情報研究センター Fax 058-267-5238

3. 「木田教育資料研究報告会」

主 催：岐阜女子大学

開催日時：平成 24 年 11 月 4 日(日) 10：00～12：00

会 場：岐阜女子大学(岐阜市太郎丸 80 番地)

申込締切：平成 24 年 10 月 19 日(金)

申 込 先：岐阜女子大学文化情報研究センター FAX 058-267-5238

日本教育情報学会 運営本部事務局

〒500-8813 岐阜県岐阜市明徳町 10 番地 杉山ビル4F

岐阜女子大学 文化情報研究センター内

Tel:058-267-5233 Fax:058-267-5238

E-mail:nkjg@gijodai.ac.jp